

第 70 回 幹 事 会

平成 20 年 12 月 25 日

日 本 学 術 会 議

第 70 回幹事会議事次第

日時 平成 20 年 12 月 25 日 (木) 14:00~

議題

I 非公開審議事項

1 委員会関係

- 提案1 幹事会附置委員会委員の決定
- 提案2 機能別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定
- 提案3 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定

II 審議事項

1 選考関係

- 提案4 補欠の会員候補者を推薦する部の決定

2 団体の指定等

- 提案5 日本学術会議協力学術研究団体の指定
- 提案6 学術刊行物の指定

3 国際会議関係

- 提案7 副会長(国際担当)の職務の代行について
- 提案8 平成20年度代表派遣(1~3月)

4 シンポジウム等

- 提案9 冬の公開シンポジウム「生命を守る医と食の安心、安全のために」
- 提案10 公開シンポジウム「黄砂および大気汚染物質の越境輸送問題」
- 提案11 政治学委員会政治学展望分科会の地方開催
- 提案12 シンポジウム「アジアにおける持続可能な水資源管理」
- 提案13 日本学術会議主催公開講演会「学術分野における男女共同参画促進のために」
- 提案14 日本学術会議主催公開講演会「環境学から切り開く日本の展望」

5 後援

- 提案15 国内会議

6 その他

- 提案16 「第21期の当初における課題別委員会の設置について」
- 提案17 「共同利用・共同研究拠点」の認定に関する日本学術会議の対応について

III その他

今後の予定
平成 21 年度日本学術会議予算内示額

資料2

第70回幹事会（12月25日）出席者一覧

会長		金澤 一郎	
副会長		大垣 眞一郎	
副会長		鈴村 興太郎	
副会長		唐木 英明	
第一部	部長	広渡 清吾	
第一部	副部長	小林 良彰	
第一部	幹事	木村 茂光	
第一部	幹事	山本 眞鳥	
第二部	部長	浅島 誠	(欠席)
第二部	幹事	山本 正幸	
第三部	部長	岩澤 康裕	
第三部	副部長	後藤 俊夫	
第三部	幹事	池田 駿介	
第三部	幹事	海部 宣男	

事務局長 竹林 義久

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 審議付託等	1
3 委員会委員の辞任	2
第 2 各部・各委員会報告	
1 部会の開催とその議題	3
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	3
3 機能別委員会の開催とその議題	3
4 分野別委員会の開催とその議題	4
5 課題別委員会の開催とその議題	9
6 サイエンスカフェの開催	9
7 総合科学技術会議報告	10
8 慶弔	10

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
11月22日(土)	近畿地区会議 学術講演会	唐木副会長
11月25日(火)	総合科学技術会議 ライフサイエンスPT	金澤会長
11月27日(木)	総合科学技術会議 有識者会合	金澤会長、竹林局長
11月28日(金)	中国・四国地区会議 学術講演会	大垣副会長
12月4日(木)	総合科学技術会議 有識者会合	金澤会長、竹林局長
12月8日(月)	総合科学技術会議本会議	金澤会長、綱木次長
12月12日(金)	シンポジウム「脳とこころの発達」 ※開会ご挨拶	金澤会長
12月15日(月)	STS フォーラム国内連絡会議	金澤会長、原嶋参事官
12月18日(木)	総合科学技術会議 有識者会合	金澤会長、竹林局長
12月19日(金)	東北地区フォーラム	金澤会長
12月24日(水)	第10回総合科学技術会議と日本学術会議の連絡懇談会	四役、竹林局長、綱木次長

2 審議付託等

件 名	申 請 者	審議付託先
「地球とハーモニー」～講演と音楽の夕べ～の後援	社団法人 東京地学協会会長	第三部
COCI戦略会議、ワークショップ「化学産業とIUPAC」の後援	社団法人 日本化学会会長	第三部
第9回グリーン・サステイナブルケミストリーシンポジウムの後援	グリーン・サステイナブルケミストリーネットワーク会長	第三部
第98回日本病理学会総会／シンポジウム「病理学の学生教育と卒後教育」と「これからの病理学」の後援	社団法人日本病理学会	第二部

3 委員会委員の辞任

- 日本の展望委員会人文・社会科学作業分科会 江原 由美子 (11月21日付)
- 日本の展望委員会 持続可能な世界分科会 濱田 政則 (12月19日付)
- 国際委員会国際会議主催等検討分科会第9回国際炎症学会小分科会、第14回国際
内分泌学会議小分科会 南 裕子 (11月28日付)
- 国際委員会国際会議主催等検討分科会第14回国際生物無機化学会議小分科会、第
36回国際生理学会世界大会小分科会 矢野 秀雄 (11月28日付)
- 国際委員会国際会議主催等検討分科会 2009年I E E Eロボティクス・オートメー
ション国際会議小分科会、第9回超伝導国際会議小分科会
伊賀 健一 (11月28日付)
- 国際委員会国際会議主催等検討分科会第4回世界トライボロジー会議小分科会
石川 幹子 (11月28日付)
- 環境学委員会 村上 周三 (12月4日付)

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

なし

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 日本の展望委員会 基礎科学の長期展望分科会 (第3回) (12月3日)

①審議の進め方、論点整理 ②報告書のイメージについて ③その他

(2) 日本の展望委員会 大学と人材分科会 (第2回) (12月5日)

①幹事交代、新委員 ②話題提供 ③課題整理 ④今後の進め方 ⑤その他

(3) 日本の展望委員会 情報社会分科会 (第3回) (12月8日)

①分科会から提言に盛り込むべき事項について

②分科会報告書案について ③その他

(4) 日本の展望委員会 個人と国家分科会 (第3回) (12月10日)

①話題提供

1) 小谷汪之委員

2) 吉田克己委員

(5) 日本の展望委員会 持続可能な世界分科会 (第3回) (12月19日)

①審議の進め方、論点整理 ②その他

(6) 日本の展望委員会 安全とリスク分科会 (第2回) (12月24日)

①委員からの意見報告 ②その他

(7) 移転検討委員会 (第1回) (12月8日)

①役員の指名と同意について②日本学術会議の移転計画の変更について③その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会 (第5回) 11月27日 (木)

① 日本学術会議協力学術研究団体の指定について② 郵便事業株式会社による学術刊行物の審査協力について③ 平成20年度日本学術会議主催公開講演会 (第4回) について④ ジャーナル問題検討分科会の設置について⑤ 知的財産検討分科会の設置について⑥ その他

(2) 科学者委員会 (第6回) 12月19日 (金) (会則第31条による委員会にお

ける議決方法の特例による)

①平成20年度日本学術会議主催公開講演会(第4回)について②学術の大型研究計画検討等分科会の委員の決定について③知的財産検討等分科会の委員の決定について

(3) 科学者委員会 男女共同参画分科会(第1回) 12月12日(金)

①役員を選出について②今までの経緯について③今後の運営について④主催公開講演会の企画案について⑤ワーキンググループの設置について⑥その他

(4) 科学と社会委員会年次報告等検討分科会(第2回)(12月11日)

①外部評価委員からの評価聴取 ②その他

(5) 国際委員会 国際対応戦略立案分科会(第1回)(12月22日)

①委員長の指名②各国際対応分科会設置経過報告③今後の分科会の進め方④21期における国際対応分科会の活動基準について⑤その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 言語・文学委員会説明会および合同分科会(11月28日)

①第21期の活動について ②分科会の活動について
③分科会役員を選出 ④その他

(2) 哲学委員会説明会および合同分科会(11月29日)

①第21期の活動について ②本日のシンポジウムについて
③分科会役員を選出について ④その他

(3) 政治学委員会 政治学展望分科会(第1回)(12月5日)

①政治学展望分科会役員選出 ②21期の方針について ③その他

(4) 心理学・教育学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同

高校地理歴史科教育に関する分科会(第1回)(12月7日)

①役員を選出 ②委員の補充について ③今後の活動の進め方について

(5) 政治学委員会 政治過程分科会(第1回)(12月11日)

①政治過程分科会役員選出 ②21期の方針について ③その他

(6) 心理学・教育学委員会 脳と意識分科会(第1回)(12月12日)

①役員を選出 ②来年度の分科会活動について

(7) 法学委員会説明会および合同分科会(12月12日)

①法学委員会議事

- 1) 「日本の展望」について
- 2) 今後の活動について
- 3) その他

②分科会議事

- 1) 役員選出
- 2) 今後の活動方針
- 3) その他

③合同分科会（非公開シンポジウム）

- 1) 報告者：井上達夫（法哲学）、松本恒雄（民法）、西原博史（憲法）、
加藤克佳（研訴）、井田（研法）

(8) 地域研究委員会 地域研究展望分科会（第1回）（12月12日）

- ①役員の選出 ②地域研究委員会としての「日本の展望」作成への取り組み方
- ③各学問分野の現状と今後の課題 ④各学問分野の社会への貢献のあり方
- ⑤各学問分野のグローバル化への貢献のあり方 ⑥その他

(9) 経営学委員会 会計学分科会（第1回）（12月15日）

- ①会計学分科会の役割分担 ②会計学分科会研究方針の決定
- ③会計学分科会日程（スケジュール）の確定 ④その他

(10) 政治学委員会 政治理論分科会（第1回）（12月16日）

- ①政治理論分科会の今期の体制について（委員長などの決定）
- ②政治理論分科会としての今期の活動方針 ③その他

(11) 史学委員会説明会および合同分科会（12月19日）

- ①第21期史学委員会の活動方針について ②分科会役員の選出
- ③分科会の活動方針について

(12) 言語・文学委員会 日本の展望言語・文学分科会（第2回）（12月19日）

- ①報告書のテーマについて ②その他

(13) 哲学委員会 日本の展望哲学分科会（第1回）（12月24日）

- ①役員の選出について ②今後の審議の進め方について
- ③報告書のテーマについて

第二部担当

(1) 健康・生活科学委員会 生活科学分科会（第1回）（12月1日）

①委員長、副委員長の選任 ②今後の予定 ③その他

(2) **臨床医学委員会 障害者との共生分科会** (第1回) (12月1日)

①委員長、副委員長、幹事(2名以内)の決定

②分科会の小委員会について ③今後の活動について ④その他

(3) **健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会** (第1回) (12月9日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②今後の分科会活動について ③その他

(4) **基礎医学委員会 神経科学分科会** (第1回) (12月12日)

①委員長、副委員長、幹事(2名以内)の決定について

②今後の活動方針について ③シンポジウムの結果について ④その他

(5) **農学委員会・食料科学委員会合同 IUSS分科会** (第1回) (12月15日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②特任連携会員

③委員の分科会における役割分担 ④関連学協会との関係、連絡

⑤本分科会の活動について ⑥その他

(6) **農学委員会 土壌科学分科会** (第1回) (12月16日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②特任連携会員

③委員の分科会における役割分担 ④関連学協会との関係、連絡

⑤本分科会の活動について ⑥その他

(7) **農学委員会・食料科学委員会合同 農芸化学分科会** (第1回) (12月16日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②21期の活動計画

③日本の展望への、農芸化学分科会からの提案 ④その他

(8) **農学委員会 農業生産環境工学分科会** (第1回) (12月17日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②今後の分科会の推進方向 ③その他

(9) **農学委員会 風送大気物質問題分科会** (第1回) (12月17日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②今後の分科会の推進方向 ③その他

(10) **食料科学委員会 畜産学分科会** (第1回) (12月19日)

①委員長、副委員長、幹事の選出

②今後の畜産学分科会の活動について(対外報告、シンポジウムの開催)

③その他

(11) **基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 自然人類学分科会**

(第1回) (12月22日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出 ②第20期からの引継ぎ事項の確認
- ③第21期の活動計画 ④その他

(12) **健康・生活科学委員会 看護学分科会** (第1回) (12月23日)

- ①委員長、副委員長、幹事の決定 ②第21期の活動方針
- ③看護学分科会の会員、連携会員について
- ④健康・生活科学委員会の報告
- ⑤「日本の展望・生命科学作業分科会」について ⑥その他

(13) **健康・生活科学委員会** (第3回) (12月24日)

- ①日本の展望委員会「生命科学作業分科会」について
- ②今後の活動について ③その他

(14) **農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同
食の安全分科会** (第1回) (12月25日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出 ②今後の分科会活動について ③その他

第三部担当

(1) **地球惑星科学委員会 IUGG分科会** (第1回) (11月28日)

- ①経過報告 ②委員長の選出 ③オブザーバーの承認と特任連携会員の申請
- ④前期からの引継 ⑤小委員会の設置
- ⑥IUGG Yearbook 2009について
- ⑦学術会議代表派遣の申請について(確認) ⑧今期の活動方針 ⑨その他

(2) **情報学委員会 セキュリティ・ディペンダビリティ分科会**

(第1回) (12月1日)

- ①委員長等の選出について ②今後の活動方針について ③その他

(3) **総合工学委員会 ICO分科会** (第1回) (12月3日)

- ①役員の選出 ②経過報告 ③第21期の活動方針について
- ④光量子科学技術分野の連携体制について ⑤公開シンポジウムについて
- ⑥その他

(4) **環境学委員会** (第2回) (12月4日)

- ①環境学委員会・同分科会の委員長など執行体制の確認
- ②環境学委員会・同分科会の委員の確定
- ③環境学委員会第20期の総括と21期の活動方針、委員会の運営について
- ④日本の展望委員会の中間報告と環境学委員会からの意見と検討 ⑤その他

- (5) 基礎医学委員会・総合工学委員会合同
放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会 (第1回) (12月5日)
①役員選出 ②第21期の審議課題について ③その他
- (6) 総合工学委員会 エネルギーと人間社会に関する分科会
(第1回) (12月9日)
①役員の選出
②話題提供
1) 前田委員「鉱物資源とリサイクル」
2) 矢川委員「エネルギー諸問題における科学技術の役割」
③今後の議論の進め方
④その他
- (7) 心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・
環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会
(第1回) (12月12日)
①第20期委員会の成果について確認 ②今後の進め方について
③小委員会の設置について ④その他
- (8) 機械工学委員会 機械工学ディシプリン分科会 (第1回) (12月15日)
①委員自己紹介 ②役員の選出 ③前期分科会の報告 ④審議計画 ⑤その他
- (9) 土木工学・建築学委員会 拡大役員会 (第1回) (12月17日)
①土木工学・建築学委員会の活動方針 ②各分科会の構成と活動方針
③「日本の展望」とりまとめに向けて
④土木工学・建築学委員会全体会議(2009年3月6日開催)の進め方
⑤その他
- (10) 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会 (第1回) (12月19日)
①委員長、副委員長、幹事の選出 ②第21期の課題について ③その他
- (11) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP合同分科会
(第1回) (12月19日)
①委員長等の選出について ②今後の活動方針について
③第24回IGBP科学会議の日本(小樽)開催について
④国際シンポジウムの開催予定について
⑤IGBP、WCRP、ESSPの最近の動向について ⑥その他
- (12) 物理学委員会 IAU分科会 (第2回)、
同委員会 天文学・宇宙物理学分科会 (第2回) (12月19日)

①長期計画報告のとりまとめについて ②その他

(13) 情報学委員会 ウェブ・メディア社会基盤分科会 (第1回) (12月19日)

①委員長等の選出について ②今後の活動方針について ③その他

(14) 化学委員会説明会及び合同分科会 (12月22日)

①科学委員会の組織体制、運営方針、活動内容について

②分科会委員の所属、活動について ③「日本の展望」の取りまとめについて

④その他

(15) 機械工学委員会 (第2回) (12月22日)

①委員会役員挨拶 ②委員会名簿確認 ③第20期活動報告

④第21期の活動について

⑤「日本の展望」に対する機械工学委員会の対応について

⑥今後の予定 ⑦その他

(16) 地球惑星科学委員会 IUGS分科会 (第1回) (12月22日)

①役員の選出 ②小委員会委員の推薦について

③平成21年度代表派遣について ④IUGS本部への報告について

⑤その他

(17) 数理科学委員会 (第2回) (12月24日)

①副委員長・幹事の選出 ②各分科会の所属について

③今後の活動方針について

④日本の展望に関する各分野委員会における検討について ⑤その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 地球温暖化問題に関わる知見と施策に関する分析委員会

(第1回) (12月10日)

① 委員長、副委員長及び幹事の選出 ②報告書(案)について ③その他

(2) 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会役員会 (第2回) (12月16日)

①今後の進め方について ②その他

(3) 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会 (第4回) (12月19日)

①有識者からのヒアリングについて ②今後の進め方について ③その他

6 サイエンスカフェの開催

(1) 12月15日(月) 18:30~20:00

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ

テーマ：女の子は理系に向かないか？：理系女子の生存戦略

講 師：上野 千鶴子（東京大学大学院人文社会系研究科教授
日本学術会議第一部会員）

美馬 のゆり（公立ほこだて未来大学教授）

7 総合科学技術会議報告

1. 本会議

(第78回)

12月8日

- (1) 平成21年度科学技術関係予算の編成に向けて
- (2) 国家的に重要な研究開発の評価(気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験)
- (3) 意見交換(革新的な技術をいかに日本の競争力強化に結びつくよう展開するか)

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

- | | |
|----------|---------|
| ・ 11月27日 | *会長出席 |
| ・ 12月 4日 | *会長出席 |
| ・ 12月11日 | *会長欠席 |
| ・ 12月18日 | *会長出席 |
| ・ 12月25日 | *会長出席予定 |

8 慶弔

○慶事

日本学士院会員

西田 篤弘(にしだ あつひろ) 12月12日 第21期連携会員

○ご逝去

鶴尾 隆(つるおたかし) 12月16日 享年65歳 第19~21期会員、第2部会員

中嶋 貞雄(なかじまさだお) 12月14日 享年85歳 第13~15期会員、第4部長

審 議 事 項

II	審議事項	
1	選考関係	
	提案4 補欠の会員候補者を推薦する部の決定	1
2	団体の指定等	
	提案5 日本学術会議協力学術研究団体の指定	2
	提案6 学術刊行物の指定	4
3	国際会議関係	
	提案7 副会長（国際担当）の職務の代行について	6
	提案8 平成20年度代表派遣（1～3月）	8
4	シンポジウム等	
	提案9 冬の公開シンポジウム「生命を守る医と食の安心、安全のために」	10
	提案10 公開シンポジウム「黄砂および大気汚染物質の越境輸送問題」	13
	提案11 政治学委員会政治学展望分科会の地方開催	15
	提案12 シンポジウム「アジアにおける持続可能な水資源管理」	16
	提案13 日本学術会議主催公開講演会「学術分野における男女共同参画促進のために」	19
	提案14 日本学術会議主催公開講演会「環境学から切り開く日本の展望」	21
5	後援	
	提案15 国内会議	22
6	その他	
	提案16 「第21期の当初における課題別委員会の設置について」	23
	提案17 「共同利用・共同研究拠点」の認定に関する日本学術会議の対応について	25

4	
幹事会	70

提 案

補欠の会員候補者を推薦する部の決定について

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、決定すること。
- 3 提案理由 会員の死亡に伴い、補欠の会員を選考するために、候補者を推薦する部を決定する必要があるため。

(参考)

- 補欠の会員の選考手続について（平成18年6月22日第18回幹事会申合せ）
 1. 幹事会は、前任者の専門分野等を考慮して補欠の会員の候補者（以下「候補者」という。）の推薦を依頼する部を決定する。
 2. 会長は、幹事会の決定を受けて当該部に対し、候補者の推薦を依頼する。

5	
幹事会	70

提 案

日本学術会議協力学術研究団体の指定

1. 提 案 者 会 長
2. 議 案 日本学術会議協力学術研究団体の審査結果を回答すること
3. 提 案 理 由 日本学術会議協力学術研究団体への新規申し込みのあった団体について、科学者委員会の意見に基づき、下記のとおり回答することとしたい。

記

- 指定することを適当と認める。

(申請団体名)

芸術工学会
英語語法文法学会
日本広報学会
東アジア日本語教育・日本文化研究学会
ニュージーランド学会
分子シミュレーション研究会
材料技術研究協会
環境芸術学会
日本フッ素化学会
インド思想史学会
戦略研究学会
日本学校ソーシャルワーク学会
日本人権教育研究学会
サイコアナリティカル英文学会
日本アミノ酸学会
日本安定同位体・生体ガス医学応用学会
特定非営利法人 日本評価学会

○ 指定することを適当と認めない。

全国大学体育連合

川崎医療福祉学会

以上

6	
幹事会	70

提 案

学術刊行物の指定

1. 提 案 者 会 長
2. 議 案 学術刊行物の審査結果を回答すること
3. 提 案 理 由 学術刊行物への新規申し込みのあった刊行物について、科学者委員会
の意見に基づき、下記のとおり回答することとしたい。

記

- 指定することを適当と認める。

(申請団体名)

茨城史林	茨城地方史研究会
認知症ケア事例ジャーナル	日本認知症ケア学会
高齢者虐待防止研究	日本高齢者虐待防止学会
JNET 脳神経血管内治療	日本脳神経血管内治療学会
ことばの科学研究	ことばの科学研究学会
阪神近代文学研究	阪神近代文学学会
市大日本史	大阪市立大学日本史学会
語研ジャーナル	語学教育研究所
JCMS I	計測自動制御学会
日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌	日本産科婦人科学会

- 学術刊行物に指定することを適当と認めない。

語研FORUM

語学教育研究所

(理由)

内容が学会発表のプログラムとその発表内容で構成されており、学術に関する刊行物の要件を満たしていないため。

以上

7	
幹事会	70

提 案

副会長（国際担当）の職務の代行について

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおりとすること。
- 3 提案理由 黒田玲子第三部会員が ICSU 副会長（渉外担当）に選出されたことに伴い、黒田会員が ICSU 副会長に就任している期間中、副会長（国際担当）の職務のうち ICSU 関係の業務について、必要に応じ黒田会員に代行させるため

副会長（国際担当）の職務の代行について

〔平成 20 年 12 月 25 日〕
日本学術会議第 68 回幹事会決定

ICSU 第 29 回総会（平成 20 年 10 月 22 日～24 日）において、黒田玲子第三部会員が ICSU 副会長（渉外担当）に選出されたことに伴い、黒田会員が ICSU 副会長に就任している期間中、副会長（国際担当）は、その職務のうち ICSU 関係の業務について、必要に応じ黒田会員に代行させることができることとする。

8	
幹事会	70

提 案

平成20年度代表派遣について（平成21年1月～3月分）

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考> 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

第19条 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。

2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	会期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	第37回地質科学国際研究計画 (IGCP)本部理事会	2月11日	2日	パリ	波田 重熙 神戸女子大学文学部 特任連携会員	地球惑星科学分科会 特別派遣
		～ 2月12日		フランス		

9	
幹事会	70

提 案

日本学術会議第二部主催 冬の公開シンポジウム
「生命を守る医と食の安心、安全のために」

1. 提案者 第二部部長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議第二部
2. 後 援 日本医歯薬アカデミー
3. 日 時 平成21年2月5日（木）13：00～17：30
4. 場 所 日本学術会議 講堂

5. 次 第

[開催趣旨]

当シンポジウムでは、高度に発展を遂げた現代の日本社会が抱える種々の問題の内、生命を守るための基本的な問題、すなわち医の問題と食の問題に焦点を当てた。現在の問題点を浮き彫りにすると同時に、安心・安全なシステム構築への提言や努力について、各界の専門家による解説が行われる。

[プログラム]

挨 拶 （13時00分から13時15分まで）

日本学術会議会長 金澤一郎（調整中）

組織委員長 野本明男（東京大学大学院医学系研究科教授、
日本学術会議会員）

第1部 プロローグ

(13時15分から13時45分まで)

座長 菅村和夫 (東北大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員)

講演1) いのちを守る遺伝子

本庶 佑 (内閣府総合科学技術会議常任議員、日本学術会議会員)

第2部 医の安心、安全のために

(13時45分から16時00分まで、15分休憩含む)

座長 野本明男 (東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員)

講演2) 医療の危機：安心できるシステムへの課題

永井良三 (東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議連携会員)

講演3) 新たな感染症発生への対応

岡部信彦 (国立感染症研究所感染症情報センター長、
日本学術会議連携会員)

座長 南 裕子 (近大姫路大学学長、日本学術会議会員) (調整中)

講演4) 産科医療の安心、安全の保証—看護学からの提案—

山本あい子 (地域ケア開発研究所、日本学術会議連携会員)

座長 橋田 充 (京都大学大学院薬学研究科教授、日本学術会議会員)

講演5) 薬の安心・安全と薬学

望月眞弓 (慶應義塾大学薬学部教授、日本学術会議連携会員)

第3部 食の安心、安全のために

(16時00分から17時00分まで)

座長 新山陽子 (京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議連携会員)
(調整中)

講演6) 変わる国際環境と日本の食料・農業

生源寺眞一 (東京大学大学院農学生命科学研究科長・教授、
日本学術会議会員)

座長 春日文字子（国立医薬品食品衛生研究所室長、日本学術会議会員）
講演 7）化学物質の次世代・子どもへの健康影響—食の安全を考慮して
岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科教授、日本学術会議会員）

第 4 部 エピローグ

（17時00分から17時30分まで）

座長 水田祥代（九州大学理事・副学長、日本学術会議会員）（調整中）
講演 8）生命を守る医と食の安心、安全を構築するために
五十嵐 隆（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

終わりの挨拶 日本学術会議第二部長 浅島 誠（東京大学副学長・理事）

（講演時間、1人30分質疑討論を含む）

6. その他

- （1）事前の申し込みの必要なしで、当日先着順300名
- （2）当日、第二部会又は第二部拡大役員会を開催

10	
幹事会	70

提 案

公開シンポジウム「黄砂および大気汚染物質の越境輸送問題」の開催について

1. 提案者 農学委員会委員長
2. 提 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催：日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会、日本沙漠学会、
科研費「DNA 黄砂」研究会、琉球大学農学部（予定）
2. 日 時：平成21年2月20日（金）10:00～17:00
3. 場 所：おきでんふれあいホール（沖縄県那覇市旭町114-4）
4. 分科会：同日分科会を開催（9:20～10:00、12:00～13:00、17:00～18:00）
5. 次第

開催趣旨

黄砂の発生が2000年以降、非常に多くなっている。その黄砂が、また近年工業地域からの大気汚染物質が、中国大陸から韓国、日本等に越境輸送される現象が増加している。空気が清浄とされる長崎県五島列島では光化学オキシダントが、また沖縄県本島でも水銀の濃度が上昇するなどの観測結果が報告されている。これら黄砂を含む風送大気物質の輸送問題について、最新の情報を収集するとともに、シンポジウムにおいて活発に論議して提言資料の参考としたい。

第 I 部 （10:00～12:00）

日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会シンポジウム・科研費「DNA 黄砂」シンポジウム

10:00～10:10 開会挨拶

真木 太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、琉球大学農学部）

座長：磯田 博子（日本学術会議連携会員、筑波大学北アフリカ研究センター）

- (1) 黄砂粒子の最表面状態
八田 珠郎（国際農林水産業研究センター）
- (2) 中国甘肅省敦煌の黄砂特性および寧夏自治区靈武の無灌水植林効果
真木 太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、琉球大学農学部）
- (3) 中国ゴビ砂漠付近の砂塵嵐と九州地方の黄砂観測について
早川 誠而（日本学術会議連携会員、山口大学名誉教授）

座長：八田 珠郎（国際農林水産業研究センター）

- (4) 日本における黄砂由来口蹄疫ウィルスのDNA鑑定に関する研究
山田 パリーダ（筑波大学北アフリカ研究センター）
- (5) 黄砂の発生における病原菌及びアレルゲン物質の移送に関する研究
磯田 博子（日本学術会議連携会員、筑波大学北アフリカ研究センター）

12:00～13:00 昼休み

第Ⅱ部（13:00～17:00）

日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会シンポジウム・日本沙漠学会冬季シンポジウム

13:00～13:05 開会挨拶

真木 太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、琉球大学農学部）

座長：青木 正敏（日本学術会議連携会員、東京農工大学大学院共生科学技術研究院）

13:05～13:50

- (1) 沖縄の黄砂
栽 吉信（沖縄気象台）

13:50～14:35

- (2) 中国北西部の黄砂発生気象特性と最近の黄砂観測
杜 明遠（農業環境技術研究所）

14:35～14:55 休憩

座長：大政謙次（日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科）

14:55～15:30

- (3) 東アジア起源の黄砂の長距離輸送と気候インパクトについて
三上 正男（気象庁気象研究所）

15:30～16:15

- (4) 東アジアにおける越境大気汚染について
高見 昭憲（国立環境研究所）

16:15～16:55

総合討論

座長：鈴木 義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）

16:55～17:00 閉会挨拶

真木 太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、琉球大学農学部）

18:00～20:00 交流会開催

1 1	
幹事会	70

提 案

政治学委員会政治学展望分科会の開催について

- 1 提 案 者 政治学委員会委員長
- 2 議 案 標記分科会を下記の通り開催すること。
「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」の一部を改正すること。

記

1. 会議名 政治学委員会政治学展望分科会（第21期・第2回）
2. 日 時 平成21年2月14日（土） 14:00～17:00
3. 場 所 大阪大学 豊中キャンパス 法学部コモンルーム
(大阪府豊中市待兼山町1-6)
4. 地方開催とする理由

当分科会の構成員は6名中4名が大阪近郊に在住（他の2名は首都圏）しており、今回、上記日程で大阪で開催することとなりました。構成員の関係で日本学術会議で開催するより、大阪で開催した方が旅費の使用額が少額で済むことから、旅費・手当支給の会議としてお認め願いたい。

なお、当分科会は構成員の大半が大阪近郊に在住していることから、利便が良く、定足の確保の意味から、今後も大阪地方で開催する予定です。東京開催より大阪地方での開催の方が旅費の使用額が少額で済む限り、今後も旅費・手当支給の会議として大阪地方での開催を併せてお認め願いたい。

また、これに伴い、「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」（平成20年10月23日幹事会決定）のIV⑩にある「(注15) シンポジウム等の開催に係わる運営に限ります。」を「(注15) シンポジウム等の開催、地方開催の方が所要経費が少額の場合等」に改正する。

提 案

シンポジウム「アジアにおける持続可能な水資源管理」の開催について

- 1 提案者 国際委員会委員長
- 2 議 案 アジア学術会議 (SCA) シンガポール会合の準備の一環として、
標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議 国際委員会
共 催
 - ・財団法人地球環境研究戦略機関
 - ・東京大学サステイナビリティ学連携研究機構
 - ・東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻「共鳴型アジア環境リーダー育成プログラム」
 - ・アジア学術会議共同プロジェクト” Sustainable Water Resources Management in Asia”
- 2 日 時 平成21年2月27日 (金) 9:30～17:30
- 3 会 場 日本学術会議 講堂
- 4 開催趣旨

アジアの水資源は、経済発展と急速な都市化・工業化という経済社会的な要因に加え、気候変動という新たな課題に直面しており、今まで以上に柔軟で革新的な取り組みと、それを可能とする国際的な人材とリーダーの育成が求められている。

本シンポジウムは、平成20年5月の第8回アジア学術会議（青島総会）の成果をさらに発展させるべく、アジア学術会議（SCA）加盟国等から水資源管理に関わる気鋭の研究者を招請し、アジア地域における持続可能な水資源管理に向けた取り組みの情報交換を行い、急速に変化するアジア地域の社会、経済、環境条件下にある水資源の安定的、持続的かつ安全な利用への方策とそれに向け

た国際的な研究課題について検討する。また、広く日本の専門家との意見交換の場とする。第5回世界水フォーラムへのアジアからの提言も論議する。

5 プログラム

9:30 開会 開会挨拶

10:40 セッション1：変動するアジアの水問題-経済成長、人口増加、そして気候変動の中の水資源（講演者数3名）

11:10 セッション2：技術的対応-持続可能な水利用を支えるために（4名）

12:40 昼休み

14:00 セッション3：水資源・環境保全管理政策の現在と課題（4名）

15:30 休憩

15:50 セッション4：総括-持続可能な水資源管理に向けて（3名）

17:20 閉会挨拶

（各セッションタイトルと講演者数は予定）

（日英同時通訳を予定）

講演者

1. Xiaochang C. Wang (王 曉昌)、西安建築科技大学（中国）副学長、教授
2. Chongrak Polprasert、アジア工科大学（タイ）教授
3. Carlos Pascual、Mariano Marcos State University（フィリピン）教授
4. 山本 和夫、東京大学 教授
5. Gemunu Herath、ペラデニア大学（スリランカ）准教授
6. Ong Say Leong、シンガポール国立大学教授
7. Tjandra Setiadi、バンドン工科大学（インドネシア）教授
8. Chun Hak Lee、ソウル大学（韓国）教授
9. Mai Trong Nhuan、ベトナム国家大学ハノイ校学長、教授

10. Somnath Sen、インド工科大学教授

11. Rakmi Binti Abd. Rahman、マレーシア Kebangsaan 大学教授

12. Norov Althansukh、モンゴル科学院副院長

（以下は講演予定者）

13. 久山哲雄、財団法人地球環境研究戦略機関 研究員

14. 小宮山 宏、東京大学 総長

参加申込方法

ホームページからのオンライン受付（受付多数の場合は抽選）

連絡先

代表者:大垣 眞一郎 (第3部会員)

東京大学大学院工学系研究科 教授

電話:03-5841-6237 メール:ohgaki@env.t.u-tokyo.ac.jp

運営事務局 (東京大学内)

メール:swmsympo09@env.t.u-tokyo.ac.jp

福士謙介

東京大学 サステナビリティ学連携研究機構 准教授

電話:03-5841-1542 メール:fukushi@ir3s.u-tokyo.ac.jp

酒井宏治

東京大学大学院工学系研究科 特任助教

電話:03-5841-6263 メール:h_sakai@env.t.u-tokyo.ac.jp

池田 泉

東京大学大学院工学系研究科 特任専門職員

電話:03-5841-6249 メール:ikeda@env.t.u-tokyo.ac.jp

以上

13	
幹事会	70

提 案

日本学術会議主催公開講演会「学術分野における男女共同参画促進のために」の開催について

- 1 提 案 者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議
- 2 後 援
- 3 日 時 平成21年3月9日（月）又は3月2日（月）13:00～17:00
- 4 会 場 日本学術会議講堂
- 5 趣 旨

学術分野における男女共同参画の現状と課題を明らかにするために、国公立大学を対象とした初めての大規模なアンケート調査を、第20期に実施した。さらにこの調査の分析結果と学術分野における状況改善のために平成19年7月に出された提言を基とし、市民に対する意識啓発と具体的な活動のための提案を行うものである

6 次 第

○開会の辞：（5分）辻村みよ子会員（第一部、東北大学）

○挨拶：（5分） 金澤一郎日本学術会議会長 又は
大垣眞一郎日本学術会議副会長（科学者委員会委員長）

○基調講演：（20分）

猪口邦子会員（第一部、衆議院議員）

○アンケート調査結果報告：（20分）
江原由美子会員（第一部、首都大学東京）

休憩（10分）

○一般講演

①＜政府・研究機関等＞板東久美子氏（内閣府男女共同参画局長）15分

②＜日本学術振興会、科学技術振興機構＞10分

③＜大学＞

U7の取組み（東北大学または東京大学）

安西祐一郎先生（私立大学連合会会長、第三部会員、慶応義塾大学）各15分

④＜学術研究団体＞

荒川薫先生（第三部連携会員、明治大学）（男女共同参画学協会連絡会副委員長）
10分

⑤＜独立行政法人研究機関＞玉尾皓平会員（第三部、理化学研究所）10分

⑥＜民間企業＞渡辺美代子会員（第三部連携、東芝）10分

○パネルディスカッション

○閉会の辞：（5分）小舘香椎子会員（第三部、日本女子大学）

以上

14	
幹事会	70

提 案

日本学術会議主催公開講演会「環境学から切り開く日本の展望」
の開催について

- 1 提 案 者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議
- 2 後 援
- 3 日 時 平成21年3月19日（木）
- 4 会 場 日本学術会議講堂
- 5 趣 旨

環境学は、社会、人文、理工などの分野を横断する新しい領域として、第20期学術会議において誕生し、この間、様ざまの提言、社会的活動を行ってきた。第21期の活動を始めるにあたり、「環境学」の構図を提示し、現在、学術会議が取り組んでいる「日本の展望」との観点から、闊達な議論を行うことを目的とする。講師は、環境学委員会のメンバーであり、以下の通りである。

6 次 第

基調講演：環境学のフロンティア：環境学委員会委員長 進士五十八

- 講演1：環境科学から探る持続的地球：今中 忠行（第3部会員）
講演2：環境教育の豊かなフィールド：小澤紀美子（連携会員）
講演3：都市の持続再生と環境学：石川 幹子（第3部会員）
講演4：自然環境の保全・再生と環境学：鷺谷 いづみ（第二部会員）
講演5：リスクマネジメントと環境学：内山巖雄（連携会員）

公開討論：コーディネーター：淡路剛久（第1部会員）
「環境学から切り開く日本の展望」

15	
幹事会	70

提 案

国内会議の後援

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○後援する

名 称 等	申 請 者	審 議 付 託 先
地域保健・地域医療分野における、卒業後のキャリアパスウェイとその支援環境に関する国際フォーラム ①主催：東京医科歯科大学 ②期間：平成21年2月11日 ③場所：東京国際交流館国際交流会議場	国立大学法人 東京医科歯科 大学「医療グ ローバル化時 代の教育アライ アンス」事業推 進責任者	第二部
第98回日本病理学会総会／シンポジウム「病理学の学生教育と卒後教育」と「これからの病理学」 ①主催：社団法人日本病理学会 ②期間：平成21年5月2日 ③場所：国立京都国際会館	第98回日本病 理学会総会 長	第二部
第10回SCAR南極生物シンポジウム ①主催：南極研究科学委員会（SCAR） ②期間：平成21年7月26～31日 ③場所：北海道大学	第10回SCA R南極生物シ ンポジウム国 内組織委員会 委員長	第二部 第三部

16	
幹事会	70

提 案

第21期の当初における課題別委員会の設置について

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおりとすること。
- 3 提案理由 第21期の課題別委員会の設置について規定する必要があるため

第 21 期の当初における課題別委員会の設置について (案)

〔平成 20 年 月 日〕
第 回 幹 事 会 決 定

課題別委員会の設置については、「課題別委員会設置の在り方について」（平成 18 年 3 月 23 日付日本学術会議第 10 回幹事会決定）で定められているところであるが、現在、「日本の展望」に関する審議が本格化してきていることから、第 21 期の当初における新たな課題別委員会の設置については、以下のとおり取り扱うこととする。

1. 設置の提案は、提案内容に最も関係が深い部を通して行うこと。
2. 各部においては、提案の数を原則として 1 つに絞ること。
3. 幹事会への提案については、今年度中を目途に行うこと。
4. 提案内容については、「日本の展望」の審議事項との関係の整理に留意すること。

17	
幹事会	70

提 案

「共同利用・共同研究拠点」の認定に関する日本学術会議の対応について

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおりとすること。
- 3 提案理由 「共同利用・共同研究拠点」の認定に関する日本学術会議の対応について規定する必要があるため

「共同利用・共同研究拠点」の認定に関する日本学術会議の対応について（案）

〔平成20年 月 日〕
日本学術会議第 回幹事会決定

国公立大学に附置される研究施設が、学校教育法施行規則第143条の2第2項の規定に基づく共同利用・共同研究拠点としての認定のために、文部科学大臣に申請するに当たって、日本学術会議に対して要望書等の作成の依頼があった場合の対応については、以下のとおりとする。

- 1 依頼に対する対応については、関係する部において、又は関係する部を通じ、分野別委員会若しくは分科会（以下「委員会等」という。）において、検討する。
- 2 部又は委員会等において検討した結果に基づき、部長名又は委員長名で回答することとする。
- 3 回答については、原則として、あらかじめ幹事会において、関係する部から報告するものとする。ただし、緊急の必要があるときは、事後報告とすることができる。